(一)　昭和24年5月23日（第三種郵便物認可）　第235号　大分市報　昭和31年4月16日

毎月1日　16日発行
発行所　大分市役所
編集兼発行人　兼田俊生
印刷所　KK明文堂

今年度の市政の重点

△道路の新設と改良　△教育施設の完備
△消防力の強化　△住宅建築及び失対等

昭和三十一年度予算審議会は、去る三月八日から二十日間、大分市議会議事堂で行われ次のように決りましたので、その内容をお知らせ致します。

なお本年度の市政方針の主なものは

1、道路の新設と改良。
2、教育施設の完備。
3、消防力の強化。
4、住宅建築及び失業対策。

一般会計予算（第一表、第二表参照）

歳出歳入額　五億一、八四八万一、五七一円

歳入について

市税　三億二〇八万二九三〇円で、全歳入額の半分以上を占めている。その内訳を見ると市民税四〇%、固定資産税約四〇%で、市税の八〇%強を占めており、その他電気ガス税、市タバコ消費税、旧法による税等が含まれている。

国庫支出金　本年度国庫支出金は前年度に較べ、約十七%の減少となっているが、都市計画費、失業対策費、小学校改築費などに関する補助金は増加している。

市債　前年度に較べ四四%の減少となつているが、それは荷揚小学校改築工事の完成などによるものであり、本年度は上野ケ丘中学校増築費の起債、城東中学新築費の起債、都市計画費の起債、失業対策工事費の起債などを含んでいる。

使用料及び手数料　公共施設の使用料がその七〇%を占めているが、使用料は前年度に較べて約十%の減少となっている。又手数料は前年度に較べて約二%の増加となり、使用料及び手数料は七%の減となる。

県支出金　県の負担金は、県支出金の約二十五%、又都市計画、伝染予防、結核予防、福祉施設などの補助金が十五%、県からの委託金が約五十%を占めている。

歳出について

議会費　一般会計予算額中役所費は、二八%を占め、前年度に比して六%の増加となっているこのうちで職員費が七〇%を占め、前年度の職員費にくらべて八%の増加となっているが、一方需要費、営繕費等は減少している。

教育費　教育委員会費は、前年度にくらべて約四%の増加となつているが、一方学校臨時施設費は、前年度に比して約四五%におよぶ大巾な減少となっている。これは荷揚小学校、碩田中学校、中島小学校増改築工事の完了によるものであり、従って育教費は、前年度にくらべて約三六%の減少となった。

社会及び労働施設費　この中で生活保護費が五〇%以上を占め、二%の増加となっている。又、身体障害者厚生費、厚生施設費、養老施設費、児童福祉費社会福祉費もそれぐ増加しているが、公営住宅費の減少のため、社会及び労働施設費は、約四%の減少をきたした。

土木費　道路堤防費は、約三〇%増加し、又都市計画事業のための排水路築造費の倍額増加、並びに街路事業費を新たに設けたため都市計画費は、約三〇%の増加となった。然し、下水道費の二〇%、災害土木費の四〇%、水道濾過池増設工事委託費の九〇%の減少によって、土木費は、約十八%の減少となっている。

失業対策事業費　これに含まれる主なものは、失業対策事業に参加する人達に支拂う賃銀、その事業に必要な原材料費及び失業保険料であり、失業対策事業費のうち、賃銀は七〇%、原材料費は十三%、保険料は八%をそれぐ占めており、全体として前年度に比して、約八%の増加となっている。

公債費　長期償還元金及び長期利子が、公債費の約八五%、一時借入金の利子が約十五%を占めている。そして公債費は、長期償還金増加のため、前年度に比して、約二六%の増加となっている。

以上簡略に一般会計予算のうちで主な款目に対して説明を加えたが、一般会計歳出歳入額は、前年度にくらべて、約十%の減少となった。

尚青果市場、公益質屋、大分刑務所及び高崎山自然動物園に関する昭和三十一年度大分市特別会計歳入歳出予算は紙巾の関係で省略致します。

毎週金曜日午前八時より十分より始まる放送市政だよりは、皆様の時間です。お忘れなくダイヤルをラジオ大分六〇〇キロサイクルに、お廻し下さい。

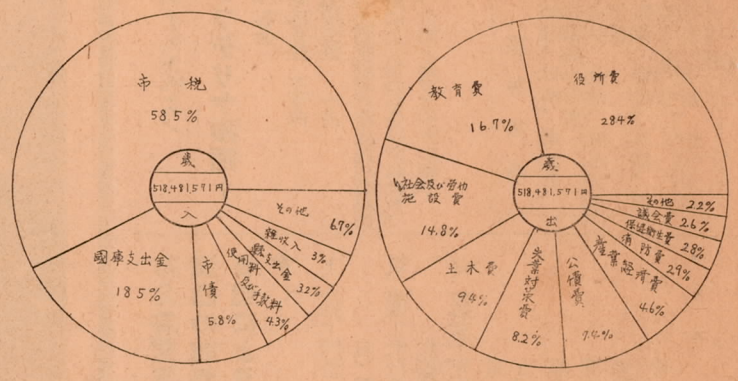
昭和31年度一般会計歳入歳出予算（第一表）

歳入

款別	本年度予算（）内は予算構成比率	前年度予算	増	減	前年度予算との増減比率%
市税	(58.8%) 303.082.930	304.204.342		1.121.412	0.3%減
地方譲与税	1	1			
地方交付税	(1.9%) 10.000.000	3.000.000	7.000.000		2333.3%増
公企業及び財産収入	(1.6%) 8.688.038	3.918.034	4.770.004		121.7%増
分担金及び負担金	(2.3%) 11.785.407	15.563.777		3.778.370	24.2%減
使用料及び手数料	(4.3%) 22.328.982	24.118.012		1.787.930	7.4%減
国庫支出金	(18.5%) 96.133.565	122.285.439		21.455.374	17.5%減
県支出金	(3.2%) 16.702.498	16.056.480	646.018		4%増
寄付金	(0.4%) 1.860.000	2.000.000		140.000	7%減
繰入金	(0.2%) 900.000	1	899.999		
繰越金	(0.32%) 1.700.000	5.398.100		3.698.100	68.5%減
雑収入	(3%) 15.400.150	31.299.796		15.899.646	50.7%減
市債	(5.8%) 29.900.000	60.200.000		26.800.000	44.5%減
合計	(100%) 518.481.571	588.042.881		61.364.810	10.4%減

歳出

款別	本年度予算（）内は予算構成比率	前年度予算	増	減	前年度予算との増減比率%
議会費	(2.6%) 13.688.021	11.942.063	1.745.958		14.6%増
役所費	(28.4%) 147.173.536	137.210.939	8.962.597		6.5%増
消防費	(2.9%) 15.233.632	15.656.209		422.577	2.6%減
土木費	(9.4%) 48.770.469	59.865.039		11.094.570	18.5%減
教育費	(16.7%) 86.501.861	148.174.367		53.476.006	36.1%減
社会及び労働施設費	(14.8%) 76.679.177	80.281.656		3.602.479	4.5%減
保健衛生費	(2.8%) 14.592.273	17.901.618		3.309.345	18.5%減
産業経済費	(4.6%) 23.687.871	24.772.470		1.084.579	4.4%減
失業対策事業費	(8.2%) 42.425.916	39.233.620	3.192.296		8.1%増
財産費	(0.5%) 2.547.450	1.238.680	1.308.770		105.6%増
統計調査費	(0.1%) 462.985	426.473	36.512		8.5%増
選挙費	(0.5%) 2.762.613	3.338.895		576.282	11.2%減
公債費	(7.4%) 38.375.747	30.229.191	8.146.556		26.8%減
諸支出金	(0.9%) 4.580.000	4.104.336	475.664		11.5%増
予備費	(0.2%) 1.000.000	1.000.000	0	0	
合計	(100%) 518.481.571	588.042.881		61.364.810	10.4%減



一般会計歳入歳出予算構成割合表（第2表）

五ケ市町村の誇る

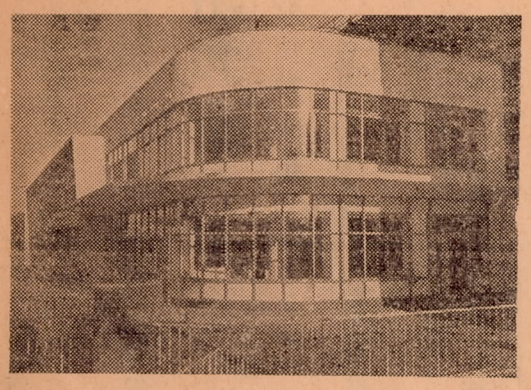
伝染病隔離病院

三養院完成する

大分市、鶴崎市、大南町、挾間町、大分村の五ケ市町村組合で工事中の大分伝染病隔離病院三養院（大分市西新町県立病院南側）は、三月三十一日完成し、その竣工式は、去る四月十日午前十一時から、県知事並に五ケ市町村長をはじめ、来賓多数が出席して、三養院屋上で盛大に行われた。

尚開院に先き立ち、この近代的設備を見ていただきたいと思い、十四日から十八日（午前九時―午後五時）まで一般に公開することになった。

このような近代的設備をもつ隔離病院が出来るまでは、辺境の地方では、伝染病が発生すると、何ら設備のない小さな小舎に患者を運んだこともあった。然し、五ケ市町村民は、今後、電話一つで、自動車で自由に三養院に入院し、充分なる手当てを受けることが出来るようになったのです。三養院は皆様の病院として、万一にも伝染病が発生した時は、大いに利用



近代的な設備を有し5ケ町村が県下に誇る伝染病隔離病院（三養院）の正面玄関

仙石橋の改修なる

市内勢家（住吉神社前）にある仙石橋は、去る三月二十六日完成した。

この橋は工費約六十万円、長さ十米、巾五米、市内の橋としては極く少さなものである。処が、今から約二百年前、この橋の附近は深い入江で、当時千石船が自由に出入するという。府内の商港で、東の坊ケ小路渡しと共に昔殷盛を極めた処である。

当時石橋として改造された仙石橋の渡初式には、藩をあげて祝ったという古事が「豊府指南」という書にある。

豚の移動禁止解除

一月始め、別府、大分両市に豚コレラが発生したため、豚の移動が禁止されていましたが、徹底した予防注射を実施したため、三月六日以降の発生は全く見られず、終熄した状況にあります。そこで四月十日付の大分県告示で、この移動禁止が解除されました。

料理学級だより

本年度第一期料理学級はつぎの日程で行いますので受講者の方は御承知おき下さい。

第一料理学級　（六ケ月間）
毎月第一、第三金曜日。但し四月に限り、第二、第四金曜日

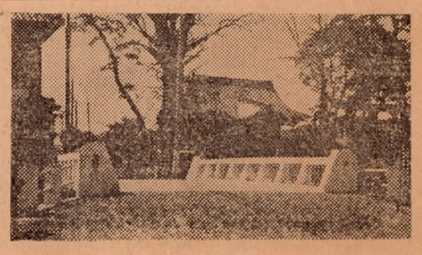
第二料理学級　（四ケ月間）
毎月第二土曜日
但し四月に限り第四土曜日

第三料理学級　（四ケ月間）
毎月第四木曜日　但し四月に限り、第三水曜日　（十八日）
時間は何れも午後一時から四時まで。

普通外米の配給

四月一日より普通外米を消費者の希望により配給しますから左記によって購入して下さい。

一、配給は消費世帯用、生産世帯用旅行者用の主食配給通帳で一般配給を受ける者に対して行う
二、購入は一般主食配給の登録してある米穀配給店から
三、購入方法及数量
主食配給通帳により一人一ケ月当り五瓩　尚価額は一瓩当り
上級　六三円
並級　五八円



（完成した仙石橋）

保護家庭の子供に服を

市福祉事務所より小学児童え六五着

大分市役所社会課では、四月五日から、生活扶助家庭の小学校入学児童六五名に被服の支給を行った。これは生活保護法の適用を受けている家庭の小学生にのみ支給されるもので、学年始めに、毎年行っています

この服を着た可愛らしい児童等は、新学年を迎え、喜び勇んで、勉学に励むことでしょう。

今年度から県下九十才以上の老人に養老年金を支給することになつたが、この服にしろ、年金にしろ社会保障制度が年を追って充実し尚且社会に明るい笑をなげかけてくれるものはうるわしい限りで、将来も助長していきたいもの（である。

人は右 車は左 の対面交通

春の交通安全運動に御協力下さい

大分警察署

春の全国交通安全運動は来る十六日から二十五日までの十日間、全国一斉に行われることになつたそこで縣警察本部では此の運動を徹底させる為、去る四月十日縣教育会館に於て、関係諸官職、各界代表者を集めて交通事故防止対策連絡協議会を開催した。

この会議は人命尊重の時代に、いかに尊い人命が失われているかが、統計的に記録されているので、其の主なものを挙げて皆様の御参考に致したいと思います。

傷者と死者

先ず全国統計から昭和三十年中の事故発生件数を見ると、約九万四〇〇〇件、内死亡者六三七九人傷者七万六五〇一人、一日平均二五七件が発生し、死者十七人、傷者二〇六人となつている。

これを大分縣に例をとつてみると、昨年は発生件数八一三件、死者七六人、傷者六六六人であつた処が今年はこの三月十日現在の約三ケ月間に已に発生件数二一七件、死者二四人、傷者二〇二人

午後二時から七時まで運転手は一二四才が同位で双方とも一四、五%、前者は体に抵抗力がない年未満の者が首位で、全体の三八%となつている。

車別は貨物自動車が全体の半分五五、七%を占めている。

又事故発生原因別では、諸車の場合、徐行違反が第一、次が追越不適当、操縦未熟練（殆ど無免許）の順となつている。

人及び物件では車の直前、直後の横断や、道路の不完全などの諸点が挙られている。

交通事故に因る死亡者を年令別に見ると、〇才一五才と、二〇才

本県交通事故の一般的傾向は

昭和三十年度の本縣に於ける交通事故の一般的傾向は、市街地の交叉点が圧倒的に多い時間は

三月中に於ける国立公園高崎山の入園者は、今年に入つて最高記録をたてた。即ち全入園者数は九万七千四百四名であり一月に於ける入園者数の二倍強に達している。

三月に於ける入園者の特徴は団体観光客の著しい増加である。この中で特に中学生、高校生の団体客が著しく増加して二月の十一倍にも達している。

これは春休みを利用して修学旅行を済ませようとする学校が増加したためのようである。

又この観光客はどの方面から来ているかを見ると、やはり地元大分縣が断然多く、五千七百六十九名でトツプ、続いて福岡縣の三千九百八名が二位、三位以下は熊本京都、大阪、兵庫、広島の順となり、何れも三千名から四千名までの間である。これを見てもわかるように関西方面からの観光客が全観光客の二割八分の多くを占めている。これに反し九州各縣からの観光客は大分、福岡、熊本の三縣を除いては著しく低調で、六百名をオーバーしている縣がないのはいささか淋しい感がする。

特に鹿児島縣などは僅か百十九名の来客しかなかつた。

では一日平均何名の入園者があつたかを見ると、約三千百十名で、毎日高崎山の猿の八倍強の来客があつた勘定となる。

そこで三月の入園料について見ると、合計は二百三十五万八千六百八十五円となり、一日平均約七万六千八十七円で猿一匹に一ケ月間に六千三百七十七円をかせいでいるという勘定で、聞うなれば四級職の公務員というところ、今後共大いにかせいで貰いたいものである。

（別表は昨月三月との比較）

	昭和31年3月		昭和30年3月	
	3月総計	一日平均	3月総計	一日平均
個人入園者	50.892名	1.642名	45.726名	1.475名
団体入園者	46.551名	1.502名	34.309名	1.107名
総計	97.443名	3.144名	80.035名	2.582名
入園料総計	2.358.685円	76.087円	1.994.075円	64.325円

桜と人と猿

高崎山入園客―三月は今年度最高

学年の始めに当つて

子供の芽生を大切に

小学校の子どもの場合、進級したという喜びで、過去一ケ年の成績を問題にせず、ただ自分が偉くなつたような、おりこうになつたような気持になつているものであります。これは内容の伴わないただ気分的なものでありますが、御家庭では、この子どもの芽生をいたわり育てあげていただきたいと思います。子どもの中には、進級という一年に一度の機会にも、あまり殊しい感動を示さない子どももさんもあります。これは御家庭の方の温い心で、先生も教科書も教室も新しくなつていることでありますから、何か新しい期待とか希望を持たせるようにして下さい尚、子どもの躾とか習慣化の問題につきましては、新しい機会を契機としなければなりませんから、この新しい学年始にあたつて、家庭学習の時間をきめるとか、自分で早くそれぞれの先生に同調するという事が大事なことであります。内容も難かしくなり、新しい教科も増して来ますので、毎日の予習復習は絶対に欠いではなりません。

小学校の場合

四月初にハンデイキヤツプができると、なかなか追いつけなくそれが原因でいろいろな問題も起ります。各教科の勉強の仕方については、担任の先生から話があると思いますが、教科書がすらすら読めるという事が一番大事な事だと思います。尚、クラブ活動やホームルーム活動、生徒会活動も、教科と同様大切な勉強で、これらの面に於て子供等が積極的に活動しているかどうかを気をつけて、家庭でも学校で経験した事を聞いてやる様にして頂きたいと思います。

中学校の場合

中学校では、教科毎に専門の先生から指導を受けることになりますが、先生によつて気質も異り躾や方法も幾分違う点がありますので三年生になりますと全校の中心で、生徒会その他、自主的に全校をひきいて行く気構えが大事です。又、高校進学の問題も切実化して来ていますが、三学期になつてあわてる事のない様、学期初からそのつもりで充分気をつけていただきたいと思います。選択教科については、将来の方向をはつきり定めて、あやまちの無いようにして下さい。とにかく青年前期に入りますので、自我にも覚めて来ますし、肉体的、生理的にも大人らしくなる段階でありますから充分気をつけて御指導いただきたいと思います。

× ×

× ×

ゼヒ 受けましよう

―赤ちやんにヂフテリヤ接種―

ジフテリア予防接種該当者

初回免疫、生後六ケ月以上十二ケ月までの乳児（未だ一度も受けていない幼児）

注射をしてはならない者

脚気、心臓又は腎臓の病気のひとい方や胸腺淋巴体質の徴候ある者

一、料金

初回免疫　三十円

追加免疫　十円

但し生活扶助者は担当民生委員の証明により料金を免除されます。

一、日時と場所は別表の通り

接種月日	実施場所
四月二十四日	桃園、日岡、東大分、津留各小学校
五月八日	二十二日	長浜、金池、滝尾各小学校
〃 二十五日	〃 九日	〃 二十三日	荷揚、春日、八幡、神崎各小学校
〃 二十六日	〃 十日	〃 二十四日	中島、大道、南大分小学校
〃 二十七日	〃 十一日	〃 二十五日	

毎日午後二時より四時まで

市公益質屋では質流品の競売を次の日程により行います

1、日時―四月二十五日（水曜日）午前十時半

2、場所―大分市公益質屋（縣立病院前）

3、競売品―背広三ツ揃、腕時計、女レインコート、短靴（新品）婦人靴（新品）白ズボン、女袷長着男袷長着、男袷羽織、男単羽織

× ×

× ×

第8回 赤ん坊大会

大分市

大分市、大分保健所、日赤病院、大分合同新聞社主催による第八回大分市赤ん坊大会は、四月二十四日から二日間、次の要領で開催することになつた。

1、参加資格者

昭和二十年四月一日より二十一年三月三十一日までに生れた赤ちやん。

2、予選審査の日程

（各日共午後一時―四時まで）

24日　滝尾小学校　滝尾

25日　南大分小学校　南大分

〃　日赤病院（船頭町）　中島、荷揚、八幡、神崎

26日　東大分小学校　日岡、桃園、東大分

〃　日赤病院（船頭町）　大道、春日、金池、長浜

3、申込は当日右の会場で受付ける。

4、決選審査

予選に合格した赤ちやんは、五月一日午後一時より四時まで決戦審査を市会議事堂で行い、優良児には、大分市長賞、大分保健所長賞、大分赤十字病院長賞、大分合同新聞社賞を贈る。又参加者全員に参加賞と、森永賞を贈ります。

猿と落花

春も愈々終りに近ずいた。

逝く春の名残を惜むのか一匹の猿が、落花の下で無心に遊びたわむれている。

人間の子供と何も変りない、あどけない姿

落花がまた一しきりあつて、夕日が山の端に赤い。

山寺に一垂の炊煙が揺ぎ高崎山は静かに暮れ行く

誰れの仕業か

―荒された花壇―

今年も又美しい花で若草公園の花壇が人目を引く。チユーリツプ、ヒナギク、シネラリヤ、ヒナギク、キンセンカ、パンジー、矢車草など、何れもこの春上野苗圃で育てられたものばかり恥かしそうに、小猿をかしげたヒナギクやパンジーなどは、ほんとに子供と遊びたいといつた表情。都心にあつてしかも見事な花園は誰れの目にも楽しみやすい。

然し、この花壇も丁度一年前、一晩でチユリツプが切取られた事があり、つい先日ジヤングル公園の「うわめかし」が盗掘されたことなど、人目をひく美しい草木だけに、それとなく心配していた。処が十一日の夜百本近くのチユーリツプが誰れの仕事か全部打折られて終つた。市民の皆さんと、逝く春をこの花と共に楽しまうと計画した矢先だけに不愉快な日が毎日続く。

（写真植た当日のチユーリツプ）二日目には無くなつた

固定資産税第一期分
納期は4月末日まで
徴税課